



まだ太陽が昇り切っていないうちから、こうやって SOLAN の学校生活を支えて下さっている方々が動いてくださっている姿を見て、なんだかシーンとしました。

これは、バスの運転手さんたちから見た SOLAN のスタートです。

そこから、約1時間ほどかけてそれぞれのルートまでバスを走らせて下さっているわけですが、このシーンは多くの方の目に触れていません。

まさに、縁の下の力持ちです。

もちろん、ジャストタイムに到着するのではなく、少し早めに停留ポイントに到着されており、ルートによっては20分ほど早く現地に到着されている便もありました。

そして、子どもたちの集合時刻を迎えます。

1年生はお家の方と一緒に歩いてくる子が多く、上級生になるほど一人で歩いてきている子が増えてくるなあという印象でした。

各乗車ポイントで消毒をし、シートベルトの確認をしてから、バスが出発します。

私は、実際に乗車してみて初めて知ったのですが、出発する瞬間にお家の方々は皆さん手を振って見送ってくれているのでした。

私は、ここでも何とも言えぬ温かい気持ちになりました。

どの乗車ポイントにも、お家の方々が手を振って見送っている姿があり、その姿を車窓から見ながら学校へと出発するのです。

この瞬間は、お家の方から見た SOLAN のスタートと言えるかもしれません。

もちろんそこまでの間に、着替えをし、食事をとり、持ち物の準備や確認をして家を出て…といった見えない部分の沢山の支えが日々あって、そのスタートの瞬間が迎えられています。

気が乗らない時には話を聞いて励ましたり、準備に時間がかかってギリギリの時間に出発することになったり、家を出てから忘れ物に気づいて慌てて取りに帰ったり・・・

そうしたいくつもの縁の下のサポートがあって、日々バスが出発しているんだなあと想像すると、それぞれの停留ポイントから出発するたびに胸が熱くなりました。

私も SOLAN のいち保護者として、バスの車窓から見えるお家の方々の姿に共感を覚えると共に、どこか励まされるような勇気づけられるような思いを覚えました。

さて、今回朝のバスに乗車してみたのは、いくつか理由があります。  
その中でも取り分け、車内での子どもたちの様子を実際に見てみたかったというのが率直な思いです。

なぜなら、子どもたちは場所によって全く違った顔を見せるからです。  
コスモスハーモニーのNo.35において「人は場所によって変わるもの」  
(<https://blog.seto-solan.ed.jp/?p=4586>)という内容を書きましたが、今回バスに乗って改めてそのことを感じました。

子どもたちの様子は、学校とは大きく違いました。

バスの車内、異年齢の集まり、教室とは違う先生などなどクラスとは山ほど違う環境が揃っている場所なので、振る舞い方も変わって当然です。  
バスの中の子どもたち。

教室にいる時の子どもたち。

アフタースクールの時の子どもたち。

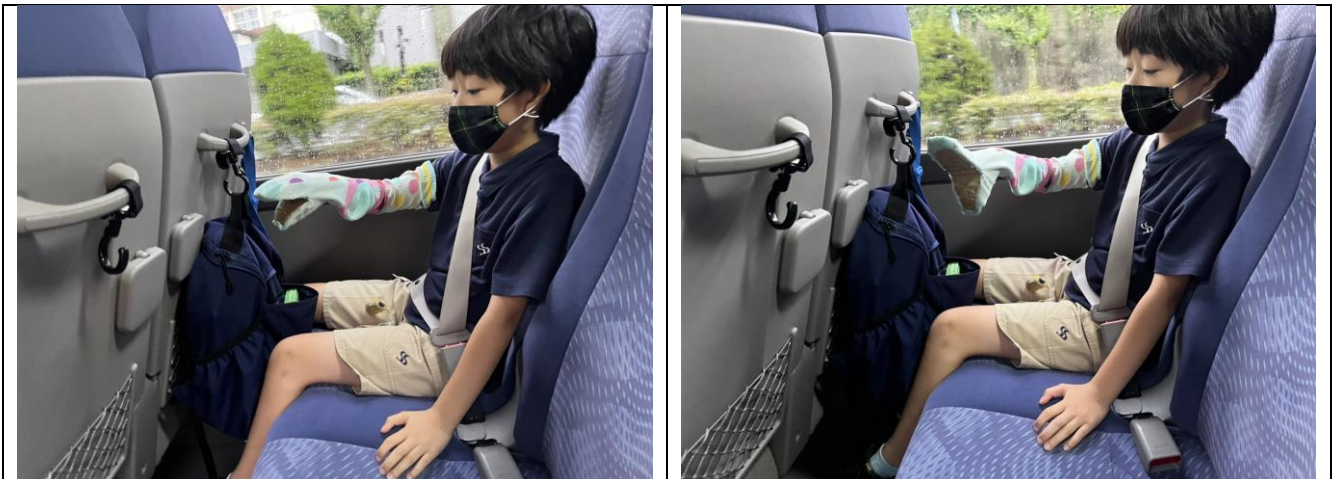
それぞれを見ていると、本当に人は場所によって大きく変わるんだなぁということを実感しました。

車内での様子についてはまたどこかで詳しくお伝えしていこうと思いますが、バスの中での様子や雰囲気を知ることができて、私の中では大いに収穫がありました。

今まで聞くことしかできなかった様々なことに合点がいったからです。

まさに百聞は一見に如かずだと思いました。

1年生だけでなく、2～4年生の子たちともいろんなやり取りができて、SOLANのことをより深く知るきっかけにもなりました。(写真は3年生の子が見せてくれた手芸作品です。)



それから、ある便に乗った時には、私はこんな質問を子どもたちにしてみました。

「〇〇ルートの中での、この人のバスの乗り方が素敵だなぁと思う人は誰かな？」

すると、子どもたちはいろいろと教えてくれました。

「〇〇くんは、いつも静かにルールを守って座っているよ。」

「〇〇さんは、1年生にいつも優しくて素敵。」

「〇〇くんが、この前折り紙をプレゼントしてくれた。」

我々大人はついつい目につく「できていないこと」について注意や叱責をしがちですが、目立たずともちゃんとルールを守ったり人に親切にしている姿にも目を向け、賞賛や励ましの声をかけていくことが大切なのだろうなあということを感じながら、学校に到着しました。

子どもたちは、今朝も元気よく「おはようございまーす！」と校舎に入っていました。

担任の視点からだけでは普段は見えない、いろんなスタートが見えたこの数日間でした。

明日もまた、日が昇り切らぬ内から SOLAN の一日が始まるのでしょうか。

そうした見えない部分にも思いをはせつつ、これからも学校生活を送っていきたいと思います。(渡辺道治)

(投稿企画へのご参加、誠にありがとうございます！今週いっぱいをめぐりに募集しておりますので気軽に楽しくご参加いただければと思います。)

- ① 小学生時代のおススメ本…「読書は、宝の山への旅」そんな言葉があります。新しい考え方に出会い、新しい言葉を知り、時には冒険し、時には迷い、そして時に感涙する。価値ある本との出会いは、人生を豊かにしてくれます。そこで、みなさんが小学生時代に読んだおススメの本を教えてください。「お父さんやお母さんが子供のころに読んだおススメの本」という言葉の響きは、子どもたちの読書熱をさらに高めてくれることと思います。
- ② 小さい頃の夏休みの思い出…先日、あるクラスの学活で「夏休みの思い出を守れゲーム」というレクを行ったそうです。自分の夏休みの思い出を5枚の短冊に書き、先生がそれを当てに行くというゲームなのですが、その中で外国人の先生が「スイカ割りをした人？」を尋ねると、なんと1人も手が上がらなかったそうです。夏休みの代名詞のようなスイカ割り文化も、現代では少しずつ変わってきているのかもしれませんが。そこで、お家の方々の子どもの頃の思い出をいろんな角度から教えていただければと思います。古き良き時代の文化に子どもたちが興味を持つきっかけにもなりそうです。

↓↓↓ご参加、お待ちしております↓↓↓

[1学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](#)